

韓国と日本における保育施設と家庭・地域社会との 連携

李, 河姫

<https://doi.org/10.15017/1441012>

出版情報：九州大学, 2013, 博士（教育学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

論文審査の結果の要旨

本論文は、子どもの成長発達と社会・文化環境の相互作用及びそれを仲介する諸アクターの役割を重視する生態学的子ども研究の視点に立脚しつつ、韓日二か国の保育現場での丹念な参与観察と国際比較の手法を用いて、韓国における保育政策及び保育実践における動向や課題の解明と連携概念の自省的検討を行い、家庭福祉・地域福祉を包含した韓国独自の包括的保育サービス理念の拡大や生態幼児教育プログラムの展開など、保育施設と家庭・地域との連携を重視する韓国の新しい保育動向の高まりを明らかにした。また現場の連携概念や連携実践における双方向的関係性の不十分さを指摘するとともに保育事業に対する市場原理的眼差しを生み出す韓国社会の保育理念や実践の特徴を抽出した。さらに韓国保育学研究において文献的紹介にとどまっていた日本の保育実践に対し実証的知見を付け加える等、学術的、政策的、実践的にも重要な貢献をおこなった。

よって、本論文は博士（教育学）の学位に値するものと認める。